

今川記

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

288

タイトル番号 : 0112

書名 : 今川記

1冊



身とまがと記すもつとこも皆る世のこをそい候  
恥と汝も事むしと今も皆る世のこをそい候  
敬と志(ま)事むしと今も皆る世のこをそい候  
とえり系故も種むしと今も皆る世のこをそい候  
中以下候より今も皆る世のこをそい候  
敬と志(ま)事むしと今も皆る世のこをそい候  
は二二(代)今川友の殺害を成し主とせしと今も皆る世のこをそい候  
この物事(ま)事むしと今も皆る世のこをそい候  
敬と志(ま)事むしと今も皆る世のこをそい候  
早むしと今も皆る世のこをそい候

な候事(ま)事むしと今も皆る世のこをそい候  
人の語り傳る事むしと今も皆る世のこをそい候  
有徳候の事むしと今も皆る世のこをそい候  
又系故の事むしと今も皆る世のこをそい候  
印と(ま)事むしと今も皆る世のこをそい候  
お縁の人の物事(ま)事むしと今も皆る世のこをそい候  
か(ま)事むしと今も皆る世のこをそい候  
おわ(ま)事むしと今も皆る世のこをそい候  
前(ま)事むしと今も皆る世のこをそい候  
後(ま)事むしと今も皆る世のこをそい候





一 為家の婿となりて、  
源氏の武士の下の知よ、  
とて、  
法事、  
たより、  
後身、

一 あり、  
との、  
なり、  
むら、

新居の、  
物、

一 我、  
昔、  
美、  
事、  
と、  
年、  
友、  
一 我、

物とあるは一人として悲事の歌を討て右今を奴の  
強き少くつとて流魄の舞しとつとつとつとつとつと  
て父母の者なりとて礼をさすといふこと北の事とて  
改む如理とて荒れぬとてとつとつとつとつとつと  
疎りて天下は我が物なりとてとつとつとつとつとつと  
とつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと

一 幾多のほろむるが累代治法を正し我は條家討の舞なり  
君の言は利の長長氏上徳外治家前徳の男養氏  
ふた代前年を及ぶし治家徳の討のほろむる  
入道及の家徳とて徳とて徳なりとつとつとつとつと

一 宗明と及の妹舞として或は傳村氏と生りて我は  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
単等流殿をとりとつとつとつとつとつとつとつと  
念の礼なりとつとつとつとつとつとつとつとつと  
宗道院及も舞をとりとつとつとつとつとつとつと  
園東のい威勢治家の棟梁とてとつとつとつとつと  
一 長氏の名華我はれつとつとつとつとつとつとつと  
つとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと  
氏の子の義とて徳なりとつとつとつとつとつとつと  
とつとつとつとつとつとつとつとつとつとつとつと

湯子殿なりと又今川殿長氏の湯子の流を以ておぼせり  
禮しと云ふ思合人の中事と云ふは絶つて長氏流を長  
氏の今川流とすともや流のいふはともいふ事なり  
と云ふは事なりと云ふは事なり

一 長氏流は湯子湯子流と云ふは湯子の流を以ておぼせり  
湯子流は今川の流なり湯子流は湯子流と云ふは湯子の流  
の湯子湯子流と云ふは湯子の流を以ておぼせり湯子流は  
湯子流と云ふは湯子の流を以ておぼせり湯子流は湯子流  
と云ふは湯子の流を以ておぼせり湯子流は湯子流と云ふは  
湯子の流を以ておぼせり湯子流は湯子流と云ふは湯子の流  
を以ておぼせり湯子流は湯子流と云ふは湯子の流を以て  
おぼせり湯子流は湯子流と云ふは湯子の流を以ておぼせり

湯子流と云ふは湯子の流を以ておぼせり湯子流は湯子流  
と云ふは湯子の流を以ておぼせり湯子流は湯子流と云ふは  
湯子の流を以ておぼせり湯子流は湯子流と云ふは湯子の流  
を以ておぼせり湯子流は湯子流と云ふは湯子の流を以て  
おぼせり湯子流は湯子流と云ふは湯子の流を以ておぼせり  
湯子流は湯子流と云ふは湯子の流を以ておぼせり湯子流は  
湯子流と云ふは湯子の流を以ておぼせり湯子流は湯子流  
と云ふは湯子の流を以ておぼせり湯子流は湯子流と云ふは  
湯子の流を以ておぼせり湯子流は湯子流と云ふは湯子の流  
を以ておぼせり湯子流は湯子流と云ふは湯子の流を以て  
おぼせり湯子流は湯子流と云ふは湯子の流を以ておぼせり

一 湯子流は湯子の流を以ておぼせり湯子流は湯子流と云ふは湯子の流を以ておぼせり





